

- 年末年始の診療は年末が12月31日（日）15～18時まで、年始は1月4日（木）より通常診療となります。
- インフルエンザワクチンの入荷予定は不安定ですので、在庫状況はHP上でご確認ください。
- 風邪の季節になりました。医療用のSP トローチの取り扱いを開始しました。感染症予防に有効だと考えられます。60粒 1000円（税込）です。
- 数か月に1回、代診となる期間があります。代診の期間は診療時間に変更となりますので注意してください。代診の約1か月前より院内掲示カレンダー、指導書、ホームページにてお知らせします。定期的にチェックしておいてください。数日前には一斉配信メールにてお知らせします。
- 緊急連絡用のメールアドレスをホームページから登録できるようにしています。休診や診療時間変更、災害時など緊急時には登録していただいたアドレスに診療状況などの情報を連絡いたします。定期的に通院中の方は必ず登録をお願いします。登録方法が分からない方はお名前・診察券番号・メールアドレスをメモしていただき渡してください。こちらで登録します。登録確認のメールが届かない場合は迷惑メールの設定を確認してください。携帯アドレスを登録される場合で迷惑メールの設定（ドメイン指定受信）をしている方は、atopy-clinic.com を許可するドメインに追加してください。迷惑メールの設定方法は携帯の機種によって異なりますので各携帯会社にお問い合わせください。

食物アレルギーの子、臨床研究で一時心肺停止

食物アレルギー治療の臨床研究に参加した子どもが一時心肺停止になった問題に関連し、全国でほかの子ども8人も治療や検査で重い症状が出ていたことがわかりました。宇都宮市で開かれた日本小児アレルギー学会で報告され、学会は改めて注意を呼びかけています。

調査はアレルギーのある食物を少しずつ食べて耐性をつける「経口免疫療法」や、その前段階として実際に食べて反応をみる「経口負荷試験」を実施する344施設が対象で、286施設から回答を得ました。

その結果、自力での呼吸が困難になるなど重いアレルギー症状が出た子どもが18人いました。うち治療や検査に関連して症状が出た子どもが新たに8人いたことが判明しました。いずれも後遺症はなく、その後回復したといえます。

ほかには、誤ってアレルギーのある食物を食べて重い症状が出たケースなどで、記憶障害の後遺症が出た事例もあったとのこと。

IgEが高いのにもかかわらず、ご家庭などで慣れさせるために子供さんにアレルギーのある食物を与えることはアナフィラキシーショックを起こす可能性があり危険です。

アナフィラキシーは、発症後、極めて短い時間のうちに全身にアレルギー症状が出る反応で、血圧の低下や意識障害などを引き起こし、場合によっては生命を脅かす危険な状態になることもあります。この生命に危険な状態をアナフィラキシーショックといいます。

漢方薬を服用していく中でIgEが下がったことを確認してから食べるべきでしょう。